むくげの会３５周年記念･釜山合宿レポート

飛田雄一

むくげの会では毎年正月に１泊２日で合宿に出かけている。過ぎし１年をふりかえり新しい１年の抱負を語るのである。合宿につきのものフィールドワークも年々充実してきている。数年前から一度韓国で新年合宿をしようという話が持ち上がっていた。韓国なら古くからの友人がいる釜山だと決めていた。昨年の滋賀合宿でいよいよ 2006 年正月決行となり、夏ごろからプランを出し始めた。が、実際に整ったのは 12 月に入ってからだ。

①釜山現地集合としてむくげの会会員以外の方もどんどんと参加してもらう②釜山では会員だけの会議の時間をとる③会員は会より参加費として２万円をもらい飛行機等は各自で手配する、ということだったが結局２グループに分かれて釜山入りした。表題の「35 周年記念」は、とってつけたもの。結果的に大イベントとなったので、飛田が命名した。

先発組は佐々木、寺岡で、12 月 17 日に出発、釜山を拠点にうろうろとしたそうだ。泊まりはアリランホテル。残りは佐久間、堀内、信長、山根、深田、飛田の６人組で、20 日出発した。当初、大阪からの船便説もでたが、体力を考慮し、結局両組とも飛行機便となった。

●

集合は、20 日午後 3 時、６人組の宿泊する国際ホテルで、映画「チング」の最後の場面の撮影された通りに面している。ホテルの前に看板が立っていた。

両グループは夕方まで散歩でもして釜山外大の林オンギュ先生グループと合流の予定だったが、早くも案内役の外大の学生とマイクロバスが到着、すぐに大学へ出かけた。校内に坂の多い綺麗な大学で世界のＴＶ（80 局？）が観ることができる施設や 2001 年の学生センター古本市の時､ダンボール 60 箱分を寄贈した本も並べられている図書館などを訪問した。一段落して夜のプログラムまでに時間もありそうなので、反省と抱負を語る本会議を先にしてしまうことにした。いい会議室もあったし、このタイミングを逃しては会議をする時間がなくなる可能性もあったからだ。(←正解！）その本会議の記録は、本レポートの最後に書くとしてその後のプログラムを続けることにする。

林さんの研究室でパンを食べてから林さんの招待による新年音楽会のために釜山文化会館にでかけた。国音の演奏も素晴らしくパンソリの競演も素敵だった。パンソリは５名の名唱が沈清歌、赤壁歌、興夫歌、春香歌、水宮歌の名場面を歌った。それぞれに張りのある声で、日本で聞く文化財的な名唱のパンソリも素晴らしいが若い元気なパンソリも良かった。拍手拍手で聞いていたが、最後に登場のパク・ソンヒさんは、すごかった。やっぱりトリはトリである。

公演後、外大図書館の前館長・金東律教授が刺身屋さんに招待してくださった。我々８名と林さん、金教授と学生７名。わいわいといっぱいの刺身を食べた。上等の魚が沢山でたがその中で絶品はイカ。ほんとうに新しいものしかこの味がでないというが、ミソが蟹のミソのように美味しいのである。ほんとに・・。

次は、カラオケ。林さんも上手、金教授も上手、我々も・・・。点数の出る機械だったが最近の韓国流は 100 点を出した人は１万ウォンを払うという。その罰金でカラオケ代がでる仕組みになっているのだ。私は罰金を払わなかったが･･。

歌いに歌い、踊りに踊って終わったのは１時半。ホテルに着いたら２時だった。

●

翌日、朝早くからの行動は期待できず午前 11 時にホテルの喫茶店に集合。昨夜の外大の李守鏡先生と学生 3 名がフィールドワークのガイドに来てくれる。さっそくコーヒーを飲んでだべり、正午前に出発して、まずはむくげの会では有名な、朝鮮戦争の時の避難民のことで知られる 40 階段および 40 階段文化館

www.junggu.busan.kr に行った。堀内、飛田は昨年の在日朝鮮人問題シンポジュウムで訪問ずみ（通信 212 号の足立レポート参照）なので、コースは間違わない。階段→文化館が正解である。逆を行くと少ししらける。

40 階段の近くで遅目の昼食を南浦洞でとってから釜山近代歴史博物館 www.mh.museum.busan.kr へ。2003 年 7 月開館で、展示も充実している。旧東拓の建物で、戦後はアメリカ文化センターとして民衆運動家に火炎瓶で放火され炎上したことで有名だ。日本の韓国教育院で働いておられたボランティアガイドの朴漢基先生が丁寧に説明してくださった。展示内容は時期的にみて昨年訪問した臨時首都記念館の前の時期のものだ。

その後、タクシーに分乗して、影島橋のたもとにある歌手・玄仁の銅像に出かけた。「がんばれ今順」「新羅の月夜」などのヒット曲がある。たくさん記念写真をとったが、ここでは敬意を表して山根さんのツーショットを貼り付けておく。夕方、西面あたりの本屋に寄り、物色。私はシン・スンフンのシングルＣＤ「I believe」を 17000 ウォンもしたが買ってきた。

夜は、東西大学・金大植さん主催の宴会だ。金さんは林オンギュさんの弟子でいまは教授。東西大学にも古本市の本を送ったので今回の宴会は古本市のお礼の要素が多い。本を選別した古本市ボランティアの信長さんもいるのでＯＫだろう。

料理はサムギョプサル（豚の 3 枚肉）。とても美味しい。金さんはソウル出張中であったが、宴会のためにわざわざ帰って来てくれたのである。ほんとうに久しぶりだった。人数は更に増えており、総勢１６、７名というところだ。

この日は時間が早い。カラオケの時間も充分にあるとのことでまた繰り出す。メンバーはほぼ同じで、のりのりの外大の女性コンビがきょうも付き合ってくれる。100 点の罰金ルールでスタートしたが、この日はなかなかでない。昨日の機械が壊れていたのか？　それで 95 点以上１万ウォンとしたらドンドンお金がたまった。いずれにしても韓国カラオケの採点は日本のそれより甘い。ホテルに戻ったのは 11 時前で、まあまあだった。

最終日３日目、国際ホテル組は、10 時出発。ホテル付の格安パック（金曜日出発で 42350 円まあまあ）で来たのでガイドさんお勧めの食料品店経由で空港へ行き、佐々木・寺岡組と合流して 12 時 5 分発のＪＡＬで関空へと向かった。

●

以上、充実の旅でした。林オンギュさんはじめお世話になった方々、本当にありがとうございました。

で、新春放談会の記録を以下に記しておく。放談の途中に昨年の自分の発言を見せてくれという不届きものもいたが。

＜寺岡＞本を書かな、思いつつ（タメ息－記録のまま）午前中に原稿を書いて『摂津風土記散歩』をつくる。
＜飛田＞今年は本をまとめて寺岡さんと一緒に出版記念会をしたいなあ・・。
＜堀内＞「植民地下朝鮮の中国人労働者」に関する論文をあと２．３本書いたら本になる予定である。「史片」の内容もまとめたい。
＜山根＞『むくげ愛唱歌集』の改訂版は著作権の関係で難しい。80 年代の歌謡曲を整理したい。（みんなは）解放後の歌謡曲史をひとりで書け。
＜信長＞東洋医学的な本の翻訳を頼まれてやっている。東学がらみの北大人骨事件関係の資料を整理して書きたい。翻訳を終えた東学の本の出版がまだである。
＜佐久間＞延辺関係のことをまとめきれていない。マンガ『商道』の翻訳もおもしろいかな。通信では「花」シリーズを卒業し「島」シリーズで書きたい。
＜佐々木＞キムチの連載を本にするつもりでがんばる。『焼肉』の新書版用の原稿を書いている。
＜深田＞３月号のメインでは韓国スポーツもので絞り込んでいる。ノレも山根さんと調整しながら？がんばりたい。